様式第１０

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
八千代市	八千代市	令和３年度～令和６年度	令和３年度～令和６年度

１　目標の達成状況

（ごみ処理）

指標		現状（令和　年度）	目標（令和　年度）　A	実績（令和　年度）　B	実績／目標
排出量	事業系　総排出量	t	t	t	%
	１事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	生活系　総排出量	t	t	t	%
	１事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人	%
	合　計　事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	t	%
	総資源化量	t	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量（年間の発電電力量）	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

（生活排水処理）

指標		現状（令和2年度）	目標（令和7年度）　A	実績（令和7年度）　B	実績／目標
総人口		202,561	204,931	208,632	―
公共下水道	汚水衛生処理人口	185,828	190,037	191,589	136.9%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	91.7%	92.7%	91.8%	10.0%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0	0	0	0.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0%	0%	0%	0.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	11,078	12,425	12,228	85.4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	5.5%	6.1%	5.9%	66.7%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	5,655	2,469	4,815	26.4%

※目標未達成の指標のみを記載。

2　目標が達成できなかった要因

・未処理人口の目標が達成できなかった要因としては，浄化槽整備地域における単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽等への転換が進まなかったことによるものが考えられる。浄化槽設置整備事業においても，単独処理浄化槽等から高度処理型合併処理浄化槽への転換 74 基（約 417 人）目標が、実績では 45 基（約 231 人）に留まった。
・近年の物価高騰の影響もあり、合併処理浄化槽等への転換コストが負担となっている可能性がある。

3　目標達成に向けた方策

目標達成年度　　令和１１年度まで

・公共下水道の整備を進め，利用を促進していく。
・公共下水道計画区域外あるいは公共下水道が整備されるまでに相当の期間を要する区域においては、既存の単独処理浄化槽や汲み取り便槽から高度処理型浄化槽への転換に際し、補助金交付を予定している。
・パンフレットの配布やホームページへの掲載等により、高度処理型浄化槽への転換補助制度の周知を図っていく。

（都道府県知事の所見）

生活排水処理に関する指標においては、「合併処理浄化槽等」及び「未処理人口」の実績が目標を達成していないことから、今後は、目標達成に向けた方策を適切に講じ、公共下水道及び合併処理浄化槽の効果的な整備を推進していただきたい。